

被災者支援の取り組み

■9月の台風15号による被災地千葉県の福祉施設へ支援物資をお届け

「生活クラブ風の村(千葉県)」から、会員の社会福祉法人ふれあいコープに物資支援の依頼があり、ふれあいコープの車で君津市の「児童養護施設・風の村はぐくみの杜」へ支援物資をお届けしました。停電は復旧していましたが、水や食料が不足しているとのことでした。

■10月の台風19号に伴う河川氾濫による会員の被害と地域ボランティア活動

幸い人的被害はありませんでしたが、会員も被災し(右表)片付け作業、復旧に1ヶ月以上を要する被害となりました。特に被害が大きかった「特養かたやなぎ(栃木市)」へは、会員間でボランティア活動を継続しました。また、社協の災害ボランティアセンターに協力し、のべ233名以上が栃木市や佐野市の泥出し作業等に参加しています。12月には長期化する栃木市の避難所へ炊き出しを行いました。



10/13～12/8
ボランティアセンターが閉鎖されるまで、毎週実施しました。

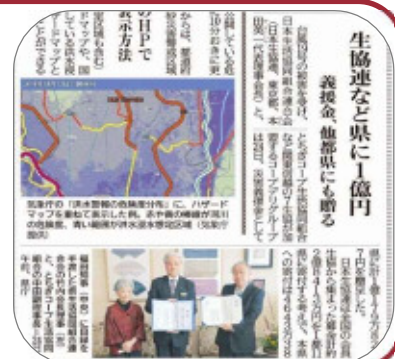


12/5、6
栃木市長寿園への炊き出し
この時点で37名の方が避難

ふれあいコープ	栃木市の特養かたやなぎの1階部分がほぼ水没し、建物、備品に大きな被害。駐車場も浸水し、社用車、職員の車ともに水没の被害。施設一部休止等、影響が続く見込み
こくみん共済COOP(全労済)	田川の氾濫にともない、推進本部会館が床上浸水(膝下)。また、地下フロアが全面冠水し、その影響で上下水道、エレベーターが使用不能となり、復旧に1ヶ月以上を要した
その他の会員も、	塀の倒壊、雨漏り、商品欠品等に加え、職員宅の浸水被害

■義援金を県へ贈呈

日本生協連とコープデリグループ(とちぎコープ等が加盟)へ集まった台風19号被害への募金1億179万8247円を、災害義援金として栃木県に贈呈しました。



防災の取り組み

■2019年度災害対策交流会を開催 <7月9日 参加者11団体、18名>

栃木県の近年の災害発生事例を学び、各事業所に起こりうる災害を予測し、防止策や事業継続について考えることを目的に開催しました。

- 講演:災害から命・財産・我が家・我が街を守るには
- 講師:栃木県県民生活部 危機管理課主任 長谷川 寛和 氏



■栃木県・真岡市総合防災訓練 <9月2日>

栃木県と締結している「災害時における応急生活物資供給に関する協定」に基づき、応急物資供給訓練等を行いました。よつ葉生協、とちぎコープに加え、今年度よりパルシステム茨城 栃木がトラックでの物資運搬に参加しました。また、栃木保健医療生協が血圧測定を行い好評でした。



行政関連

■関東農政局主催、栃木県消費者団体との意見交換会 <7月19日>

県内消費者団体4団体、20名が参加し、以下の内容で農政局と意見交換を行いました。

- ①食品ロスの削減に向けて
- ②ゲノム編集技術を利用して得られた生物に係る取扱方針(環境省公表)を受けた農林水産省の対応
- ③ゲノム編集技術応用食品の表示の在り方

■栃木県県民生活部くらし安全安心課との意見交換会・懇談会を開催 <8月7日>

「くらし安全安心課からみた生協に対する期待」をご報告いただいた後、生協連会員から各々の事業と取り組みについて報告を行いました。今後も互いの理解を深めながら、協働の取り組みをすすめます。

■参加した行政の会議等 <7月～12月>

栃木県次期プラン策定協議会	とちぎ地産地消県民運動実行委員会	宇都宮中央卸売市場運営協議会
栃木県食の安全安心推進会議	とちぎの元気な森づくり県民会議	小山市総合計画策定懇話会

とちぎの生協

〒321-0968 宇都宮市中今泉2丁目7-19 204号

TEL:028-680-5592 FAX:028-680-5593

http://tochigikenren-coop.com Eメール info@tochigikenren-coop.com

VOL.29 冬号

ごあいさつ 会長理事 竹内 明子

明けましておめでとうございます。

2020年が良き年となることできるように、生協連も誠実に活動してまいります。

昨年は自然災害による被害を受けた方も多く、今なお日常の暮らしが回復されず、困難を抱えている方もいらっしゃると思います。気象変化によって肥大化した災害から、どのように暮らしや命を守っていくのかは大きな課題と言えます。既に従来の防災の在り方では対応しきれず、根本から考え直す必要があると思われる。

また社会環境においても、喜ばしいことばかりではありませんでした。今日の日本社会を覆う、正義や誠実とかけ離れた事件や問題も深刻さを増しているのではないのでしょうか。

昨年の暮れには長年にわたり、アフガニスタンで献身的に活動されてきた医師の中村哲さんが、銃で殺害されるという事件が起きました。真に利他のために生きる方をいわれなき暴力で強制排除され、行き場のない悲しみと怒りが湧きあがります。中村医師は生前、

「人の幸せは銃でも戦争でももたらせない」とご自身の経験から仰っておられました。1991年に現地で診療所を開かれて医療活動をされていく中で、生活を成り立つようにすることが根本的な解決になると、2000年より井戸掘りや農業用水路の建設を自ら先頭に立って始められました。荒廃して砂だらけだった乾いた大地が、今では緑に潤い、米や小麦、野菜が大地を彩っています。約60万人の人たちがその恩恵を受けているそうです。命を、生活を、尊厳を守り、生きる基盤を先生はつくられたのです。

1人の力というものは弱いものです。しかし、その1人の信念と行動が周りを動かし、60万人の幸せと希望に繋がることもあります。私たちはこの中村哲さんのような、真に人の幸福に向かうようにするという想いを受け継ぎ、生協のスローガンである「平和とより良き生活を築くため」、今年も一歩ずつ着実に歩んでいきたいと思っています。

本年もどうぞ、一層のご協力、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

栃木県生活協同組合連合会創立50周年記念事業

11月1日

私の老後は私が決める



上野 千鶴子 氏

<社会学者・東京大学名誉教授>

7月26日

維持可能な社会を求めて
—平和・民主主義・環境—

宮本 憲一 氏

<滋賀大学元学長・大阪市立大学名誉教授>

7月24日

下野新聞広告記事
若手職員が語る
生協の未来

座談会の模様を掲載

栃木県生活協同組合連合会創立50周年記念祝賀会のご案内

1月23日(木曜日) 12:30~15:30 ホテル東日本宇都宮二階「福寿」

会場ご案内…宇都宮市上大曾町492番地1・JR宇都宮駅より車で約10分・東武宇都宮駅から車で約15分

ネットワーク活動・適格消費者団体

とちぎ食の安全ネットワーク

【構成】宇都宮大学名誉教授、全農栃木、酪農とちぎ、7/21 食品協、こいしや食品協、栃荒井食品、栃東武宇都宮百貨店、地婦連、労福協、JA 栃木中央会、よつ葉生協、とちぎコープ、生活クラブ生協、生協連(事務局兼任) 【オブザーバー】関東農政局、栃木県、宇都宮市、栃木県食品産業協会

■食の安全に関するリスクコミュニケーション <10月10日・県、宇都宮市と共催・参加者約150名>

テーマ「食品の農薬って心配？ホントのところを聞いてみよう！」

- 講演:農薬の安全確保・適正使用について

講師:独立行政法人農林水産消費安全技術センター平山 利隆 氏

- 報告:①生産者の取り組み ②栃木県の取り組み

- パネルディスカッション コーディネーター:自治医科大学 公衆衛生学教室教授 中村 好一 氏
・パネリスト…講演者、報告者、消費者(生協連顧問 富居 登美子 氏)



■とちぎ食の安全ネットワーク主催学習会

テーマ・ゲノム編集食品 <7月18日・参加者55名>

- ゲノム編集食品がやってくる！？～ゲノム編集・遺伝子組み換え何が問題か？
- 日本の種子を守る会事務局アドバイザー 印鑑 智哉 氏

テーマ・食品アレルギー <9月12日・54名参加>

- 演題:食品アレルギーの現状と課題
- 講師:宇都宮大学農学部 応用生命科学科 食品生化学研究室講師 山田 潔 氏



■世話人会を開催 <8月1日 第3回、10月3日・第4回>

主に、県民や組合員に向けた学習会の開催計画と、結果報告等を行いました。また、県や参加団体との報告交流および、代表世話人の宇都宮大学名誉教授 宇田 靖 氏を講師に世話人会学習会を毎回開催しています。

- 第3回世話人会学習会「食品の安全に対する不安にどう対処すべきか。高橋 梯二『日本社会における食品の安心に関する調査研究報告書(2013.7)』を読んで考える」
- 第4回世話人会学習会「WTO-SPS 協定における予防原則の取り扱い」

とちぎ消費者ネットワーク

【構成】学識者、弁護士会、司法書士会、商工会議所連合会、商工会連合会、自治会連合会、消費生活アドバイザー連絡協議会、NPO 法人とちぎ消費生活サポートネット、NPO 法人とちぎ消費者リンク、地婦連、JA 栃木中央会、中央労金栃木県本部、とちぎコープ、よつ葉生協、生協連(事務局兼任) オブザーバー…栃木県銀行協会

■消費者ネットワーク幹事会を開催 <9月17日・第3回、11月19日・第4回>

地方消費者行政市町アンケートの取り組み報告等について議論しました。また、幹事会学習会、活動報告、参加団体の報告等を毎回実施しています。

- 第3回幹事会学習会「適格消費者団体 NPO 法人とちぎ消費者リンクからの報告」
- 第4回幹事会学習会「原野商法の現状について」

■2019年度とちぎ消費者カレッジ、全日程終了

成人間もない若者が消費者被害に遭う率が高いことから、県の委託を受けて学生を対象に「とちぎ消費者カレッジ」を開催。今年度の日程が終了しました。11校12会場で開催し、合計1537名が参加しました。

- 開催校(開催順) 自治医科大学／白鷗大学／足利大学看護学部／宇都宮共和大学／栃木県農業大学校／文星芸術大学／作新学院大学／足利大学／宇都宮大学／國學院大學栃木短大／作新学院女子短大



適格消費者団体 NPO 法人とちぎ消費者リンク

■第4回通常総会 <7月25日>・無料電話相談 <9月9日>

適格消費者団体として認定後初の総会を開催。総会の後、記念講演会「社会から見た適格消費者団体～活動の意義付と課題～」を開催しました。また、9月には弁護士による無料電話相談を開催し1件の相談がありました。

消費者リンク
HPからお申
し込み下さい

消費者リンク主催学習会
オンラインショッピングで
気を付けること (仮題)

講師:EC ネットワーク理事 原田由里 氏
3月10日(火)10時～12時
栃木県弁護士会館にて

機関運営・その他

機関運営(機関会議・部会活動・定期学習会)

■理事会、常務理事会開催日程

理事会開催日 8月6日、10月8日、12月10日／常務理事会開催日 7月2日、9月10日、11月5日

■2019年度理事長専務会議 <11月29日、10団体36名参加>

栃木県生活協同組合連合会創立50周年記念座談会として、7月に下野新聞に掲載した記事と同様に、会員生協を代表する20代、30代の職員が「生協の未来」について想いを語り、組織の代表者が応答をする形で進められ、様々な気づきがありました。



■くらし部会 <生活クラブ生協、よつ葉生協、とちぎコープの地域3生協で構成>

第14回うつのみや食育フェア～宮っ子食べっこ元気っこ～・ECO テック&ライフとちぎ2019に出展し、それぞれ



生協名	食育フェアのテーマ
生活クラブ生協	健康のために、牛乳を飲もう！
よつ葉生協	食の伝統は地産地消で守ろう
とちぎコープ	朝食をたべよう

生協名	ECO テックのテーマ
生活クラブ生協	生活クラブは、プラスチックの発生を抑制します
よつ葉生協	マイクロカプセルはプラスチックからできています
とちぎコープ	プラスチックのリサイクル、使用量削減の取り組み等

●大雨が降る中、雨合羽を着ての参加となりましたが、県連ブースへは400名を超える来場者があり、食育についてともに考えました。

●生協連の統一テーマを「プラスチックを考える」として展示を行いました。県連ブースへは小さなお子さん連れのご家族等々、約450名の方が参加され賑わいました。

■福祉部会

<参加団体…こくみん共済 coop、栃木保健医療生協、社福ふれあいコープ、とちぎコープ、よつ葉生協、生活クラブ生協>

2017年に県内全域で実施した「くらしのお役立ちアンケート」から見てきた地域の願いと、2018年度実施した「職員の福祉的な意識調査」の結果をどのようににつなげることができるのか、議論をすすめました。

■2019年度役員・幹部職員定期学習会を開催中

社会問題の背景を知り、各々の力量を上げることを目的に、月に一回定期的に学習会を開催。講師のお話を聞いた後グループワークを

して内容を深めています。



回	演題・講師
第1回	「維持可能な社会を求めて 一平和・民主主義・環境」 滋賀大学元学長・大阪市立大学名誉教授 宮本 憲一 氏
第2回	「戦後であり続けるための日本経済論」高崎経済大学経済学部教授 矢野 修一氏
第3回	「私の老後は私が決める」社会学者・東京大学名誉教授 上野 千鶴子 氏
第4回	1回～3回を振り返り討論会 コーディネーターは生協連会長理事 竹内 明子 氏
第5回	「主権者として現在【いま】を生きる一格差と貧困、すべての軍事政策を廃棄する民主主義者として生きるといふこと」NPO 法人多摩住民自治研究所理事 池上 洋通 氏
第6回	「日本人の伝統的自然観と治水のあり方―究極の治水策は400年前にある―」 新潟大学名誉教授 大熊 孝 氏

その他

■2019年度協同組合交流会を開催 <11月5日 12団体28名参加>

2012年の国際協同組合年を契機に、県内の協同組合関係者同士の交流を深めるため、年に1度開催しています。今年度は栃木県の酪農について理解を深めるため、那須町の「有限会社 那須高原今牧場K.I.LADY FARM」さんを訪れました。



■栃木県種子法条例緊急集会「これで良いのかとちぎの種子条例」に参加 <9月28日>

昨年4月に廃止された種子法(通称)に代わる条例が全国11道県で制定されています。栃木県でも7千筆を超える県民の署名を受けて条例を制定しましたが、他県と栃木県との条例の違いや問題点について報告がありました。